

研究機関名：旭川医科大学

| | |
|--------------|--|
| 承認番号 | 1710-3 |
| 課題名 | 炎症性腸疾患における画像所見に関する研究 |
| 研究期間 | 西暦 2014年 4月 1日 ～ 2019年 3月 31日 |
| 研究の対象 | 1990年1月から2017年6月に当院で診療を受けた炎症性腸疾患の方 |
| 利用する試料・情報の種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号、内視鏡やCT検査などの画像など） <input checked="" type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：腸管、皮膚、胆管、リンパ節） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| 外部への試料・情報提供 | <input type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先：カリフォルニア大学サンディエゴ校）（提供方法：記録媒体や資料の郵送および電子的配信） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ） |
| 研究組織 | カリフォルニア大学サンディエゴ校 Richard L Gallo |
| 研究の意義、目的 | 炎症性腸疾患は難治性の慢性腸炎です。炎症性腸疾患では内視鏡をはじめとしたいくつかの画像検査が病気の診断に使用されていますが、画像所見と病気の性質や重症度、病理学的な特徴との関連性については不明な点が多くあります。この点を明らかにすることで画像診断の新しい解釈が生まれ、診断能の向上につながることを期待されます。 |
| 研究の方法 | 患者さん病歴や治療歴、症状の重症度、内視鏡やCT検査などの画像所見、手術、検査等で採取した組織の病理所見を詳細に対比します。そして、患者さんの病状の変化に対応する画像所見や病理所見の特徴を明らかにします。その結果を集積し、新しい画像診断の方法を開発していきます。 |
| その他 | 炎症性腸疾患の罹患率や原因を明らかにする研究に用いるため、当大学および研究グループの疾患リストに登録します。海外のデータベースに登録する場合があります。 |
| お問い合わせ先 | <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> |

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1の1

旭川医科大学内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野

電話：0166-68-2462

藤谷 幹浩

研究代表者：藤谷 幹浩

旭川医科大学内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野